

社民党

渡辺みのる通信

● 第 50 号 ●

発行日/2020年(令和2)1月(12月議会号)
発行/渡辺みのる後援会
石川町大字北山形字引地1
電話&FAX 0247-26-6994
携帯 090-2798-0434



写真説明

石川にゆかりのある日本画家須田瑛中の「春」です。桜と灯籠に、鹿の構図は穏やかな春そのものです。これと同じ構図の額装の大作が石川小学校にあります。この大作は旧北山形小学校の保護者が戦後まもなく、石川に疎開していた須田瑛中に「新しい教育」という題で描いていただいたものと言われています。

謹賀新年 新年が、健康で、 幸多きことを祈ります

希望に満ちた一年が、スタートしましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年、大水害に見舞われ、本格的復旧はこれからという皆様も多いことと存じます。

12月議会は12月5日から13日まで9日間開催されました。一般質問には8人が登壇し、台風第19号による水害からの復旧復興、防災に強いまちづくりを中心に、議論を重ねました。

今議会は、台風第19号による災害対策として、3回の専決予算(総額10億千万円)の承認、災害による税等の減免や弔慰金の改正など災害対策、12月補正予算(災害による事業延期と道の駅予算計上)、来年4月からの機構改革、会計年度任用職員の給与及び費用弁償の条例制定など、大きな課題が提案され、全議案が承認、可決となりました。

新しい1年が町民の皆様にとりまして、健康で、幸多き年でありますようにお祈り申し上げます。

北山形地区で続けられている 甲子講

今年は子年、ねずみは大黒様の使いとして、縁起の良いものとされている。大黒様は仏教の大黒天が日本に入ってきて、神道の大国主命と習合して福の神となった。古事記にねずみが大国主命を助けたという神話もあり、ねずみが神の使いとなり、食物や福財を司る神として広く信仰されている。農村では五穀豊穡の神として信仰された。

北山形地区には、大黒天を祭る「甲子講」が現在も続けられている。下組と大平組(数年前までは戸ノ内・トコロ久保組でも行われていた)で、60日毎に来る甲子の日の夜に集まり、お神酒を供え、懇親を深める。それぞれの講に大黒天、大黒様があり、現在も甲子講が絶えずに行われている。

始まりは不明であるが、大平組の大黒天の石柱には「嘉永四年十二月吉日」とあるので、江戸時代から続けられてきたものと考えられる。



▲北山形下組の大黒様

◆一般質問から◆

**渡辺：早急に、小・中学校に通級指導教室の設置を
町長：石川でも必要であり、来年度、県に要望します。**

通級指導教室は、通常の学級に在籍しながら比較的軽度の障がいのある児童生徒に対して、各教科の大部分を通常の学級で授業を受けながら一部の授業を障がいの程度に応じて「特別の指導」を行う教室です。文部科学省も共生社会の形成には、学校が率先して多様な学びの場の整備をする必要があるとして、通教による指導を推進しています。県内では103教室が開設されています。石川地方には1教室も開設されていませんので、強く設置が要望されています。



▲ 温かさで、枯れないで咲くセイヨウタンポポ

渡辺 県内の通級指導教室の開設状況を伺う。

教育長 県内では、令和元年度は103教室で、小学校89、中学校14教室です。町内でも通級指導教室が必要であり、来年度県に要望していきます。

通級による指導には、「自校通級」と「他校通級」、担当教師が児童生徒の学校に訪問する「巡回通級」があります。

渡辺 再来年度4月の開設の考えは。

教育長 5町村とも連携しながら、県に強く要望します。

渡辺 障がいのある子どもに対する合理的配慮とはどういうことですか。

教育長 一人一人の実態に合ったきめ細かな支援を行うことが大事です。

障がいのある子どもも、ない子どもも共に生きていく教育が必要であると考えています。

渡辺 共生社会のの形成に向けて、学校だけでなく、保育所や児童クラブなど、行政の多くの分野で合理的配慮が必要ですので、対応されるよう要望します。

渡辺 ハザードマップの音声化を

町長 防災計画の音声かを含めて検討する。

渡辺 今回の水害発生原因は何か

町長 千五沢ダムの上流から流入超過で、毎秒200トンのを超える水が堰堤を超えて流れ出したことや本流と支流の合流地点で支流への逆流、橋の欄干に流木や稲わらなどが集積したことが原因と考えられます。

対策について、千五沢ダムの改修と北須川の護岸工事、合流地点の改修工事が計画されています。この外合流部の河道掘削、流木被害解除を目的に伐採を要望しています。

渡辺 専門家を入れて原因究明と対策の検討を。

町長 専門機関と協議します。

渡辺 福祉避難所の設置状況を伺う。

町長 高齢者や障がい者、妊婦、乳幼児などを対象として老人ホームに設置しました。

渡辺 ハザードマップの音声化したものを配布の考えは。

町長 ハザードマップと防災計画の音声化を検討します。

渡辺 市街地のトイレ、合併浄化槽を推進してほしい。

町長 調査を行い、改善に向け対応します。

渡辺 災害時の職員の健康管理を十分に配慮を。

町長 健康管理に十分配慮します。

渡辺 厚労省の過労死ライン1ヶ月時間外100時間超え、1ヶ月時間外休日労働80時間超えの医師の面接指導ラインなど健康管理を行ってほしい。

🌸 子どもたちの未来のために④🌸

子どもを見つめてみよう、声に耳を傾けよう

台風爪あとの爪がまだのこっています。石川町が誇る桜並木にも、影響があるかもしれません。今年は「桜」の季節を待ちわびる人が少なくないと思います。一方、桜と聞いて、「桜を見る会」を思い出す人も多いでしょう。それを何年間も、総理大臣が私物化していたというのです。説明を聞くたび、「自分を支持する人たちに湯水の如く使ったお金は『税金』である」という申し訳なさは感じられませんでした。なんのために消費税10%に値上げされたのか、消費税は本当に全額国庫に納められていくのか、疑わしくなってきました。

17歳の環境活動家のグレッタさんは、世界の為政者や大人

の言動を非難し続けています。未来を語る子どもの権利の重要性を感じさせてくれます。子どもたちは、争いのある世界を望んではいません。富や利権を自分にだけという欲の深さも、持ち合わせていません。すべて大人の言動から学んでいくのです。

年頭に当たって、見つめてみましょう。子どもたちは、がんばったことを褒めてもらえているでしょうか。温かい言葉をかけてもらっているでしょうか。そして、私たち大人は、生き生きと生きていますか。

(K.H)



1月のウシハコベの花

◆一般質問から◆

渡辺：会計年度任用職員への移行で、国会附帯決議の遵守を 町長：十分尊重します

令和2年4月から全国の県や市町村の役場で、働く「臨時・嘱託職員」の皆さんが、全国一律に「会計年度任用職員」という新制度に移行します。石川町でも12月議会に条例案が提案され、可決されましたが、詳細の内容は町長が定める規則で制定されることになっています。総務省が示した「ガイドライン」に基づき施行されるように、一般質問を行いました。



◀ 初雪に見る穏やかな初春の池

渡辺 現在の臨時・嘱託職員の配置状況を伺う。

町長 総数で89名です。

渡辺 移行にあたって、国会での附帯決議「不利益を生じさせることなく、適切な勤務条件の確保・・・」の遵守の考えを伺う。

町長 十分尊重して移行に対応します。

渡辺 職員組合との交渉の考えを伺う。

町長 申し入れがあれば、適切に対応します。

渡辺 給料や報酬の水準、手当、休暇などの考えは。

町長 常勤職員との均衡を図ることが重要とされているので、おおむね準用して進めています。

渡辺 全員移行の考えで良いですか。

町長 次年度以降も必要な職種は、大体そのままの形なると考えています。



◀ 1月5日南町で行われた石川町消防団出初式

一般会計2千2百万円を減額補正

12月議会で、一般会計予算で22,269千円を減額補正しました。理由は災害からの復旧復興を優先するもので、保育施設整備事業3千万円、道路新設改良事業3千万円、橋梁維持補修事業千万円が先送りとなりました。

渡辺 2年、3年の任期のある職員移行は。

町長 1年の任期になるが、2年3年の再度の任用も可能です。

渡辺 今回の導入で、人件費が増加するが、全国的に国の支援を求めべきでないか。

町長 人件費の高騰に補助をお願いしていきます。



東電刑事裁判無罪判決 裁判所の犯した7つの誤り

第1、部下の対策進言を握りつぶした者を免罪
9月19日、東京地裁で勝俣氏、武黒氏、武藤氏の3人に対して無罪判決を言い渡しました。

東電の土木グループは政府の見解に基づき津波対策を講じるべきことを役員に進言しました。しかし、役員は工事のコストと地元から運転停止を求められることを恐れ、対策を先送りしました。東日本大震災が発生、予測していたと同程度の津波が発生し、福島原発を襲来しました。

第2、深刻な被害に向き合わなかった誤り
公判で、原子力災害がもたらす悲惨な被害状況が明らかになりましたが、判決ではこの事実が全く認定されませんでした。

第3、原発に求められる安全性のレベルを伊方最高裁判決よりも切り下げた誤り

第4、停止以外の結果回避措置を検討の対象から外した誤り

第5、東電の御前会議で、津波対策を講ずる方針が了承された証拠があるも、これを否定した誤り

第6、政府の地震調査推進本部の長期計画には、信頼性がないとした誤り

第7、津波データを社外には隠しつつ、国や県、有識者、他の電力会社に圧力をかけ、津波対策を先送りした東電工作を迫認した誤り

(社会民主12月号より)

町の大きな課題…病院誘致と浄水場の改修、保育施設整備、道の駅建設の状況

病院誘致の現状は

塩田町長が町長選公約の課題で、昨年5月、委員12名による「病院等に関する検討委員会」を設置し、現在協議が重ねられています。

議員の一般質問及び議員全員協議会で、町長は、「ひらた中央病院側の要請に基づく要望書の提出は断念する」「将来の子どもに負の財産を残してはならない」「土地ぐらいは協力しなければならない」「今後、町の費用負担もあるので、民意を聞きます」「ひらた中央病院より公設民営を要望されているが、公設民営は考えていない」と答弁しています。

議会は病院に関する勉強会の開催や病院の実態調査を計画しています。

町民の大きな期待の中で、変化する地域医療体制や町財政問題を含めて、将来の町を左右する大きな課題です。皆さんのご意見をお聞きしながら、慎重に判断していきます。

老朽化の母畑浄水場の改修

母畑浄水場は、1970年(S45)に建設され、50年が経過しています。以前から更新が求められ、平成20年の地域水道ビジョンでは、平成30年度までに新たな浄水場による水道用水供給事業を開始するとしています。

そして、平成30年12月には、浄水場更新基本設計が策定されましたが、総額約46億円の事業費に対する国庫補助金が、国の水道法な改正もあり約1億円という試算の中で、再検討が迫られました。

昨年12月、浄水場の更新ではなく、母畑浄水場の改修によって、安全な水道水の供給を維持していくことの方が示されました。

しかし、築50年の中で、経年劣化もあり、早急な方針決定と改修の実施が迫られています。

保育施設再編整備計画

平成30年12月の保育施設再編整備計画(案)

第1は、築37年の第一保育所を「幼保連携型認定こども園」として、新たな場所に設置する

第2は、第二保育所は公立保育所として運営する

第3は、野木沢保育所と沢田児童館は、将来統合を検討する

令和元年度に認定こども園の基本計画策定を予算化した。が、水害発生により、水害復旧・復興に力を入れるとして、基本計画策定を延期しました。



▲ 暖冬でフキノトウも大きい

道の駅建設

道の駅建設は町長の公約であり、令和元年6月、委員15名で「道の駅整備検討委員会」を設置しました。

検討委員会は現在調査検討中です。

一方、9月の一般会計補正予算で、道の駅基本構想と基本計画策定の委託料9,919千円を予算化し、今年度基本計画が策定される予定です。

版画家 上野 遼^{しゅう}の初春だより

木版画家上野遼は1939年東京に生まれる。東京藝術大学を卒業し、木版画家として国内外で活躍中です。

1971年の日本版画協会展で山本鼎賞を受賞しています。海外での展示も多く、オーストラリア、エジプト、台湾、アルゼンチンなどで行っています。

木版画集「風化の刻」、「花の肖像」、画文集「噂話・野村家周辺」などを刊行しています。

—作者のコメント—

<普通の人々>という言葉は、普通でない立派な人がつくったのかしら、と近頃思ったりします。<普通のひと>というふれで特徴をもたないものを、ひとまとめにしてしまったような感じですが、そんな風にのっぺらぼうの普通の人々なんて、本当はどこにもいないはず。普通の人々は千差万別であるという当然のことに気づかされ、隣人たちの肖像を連作し始めました。普段着の隣人たちを通して、今私が生きている時代を透視していきたいと思っています。



今年もよろしく
お願ひいたします。
Shu 2020 賀